

## 事業概要シート

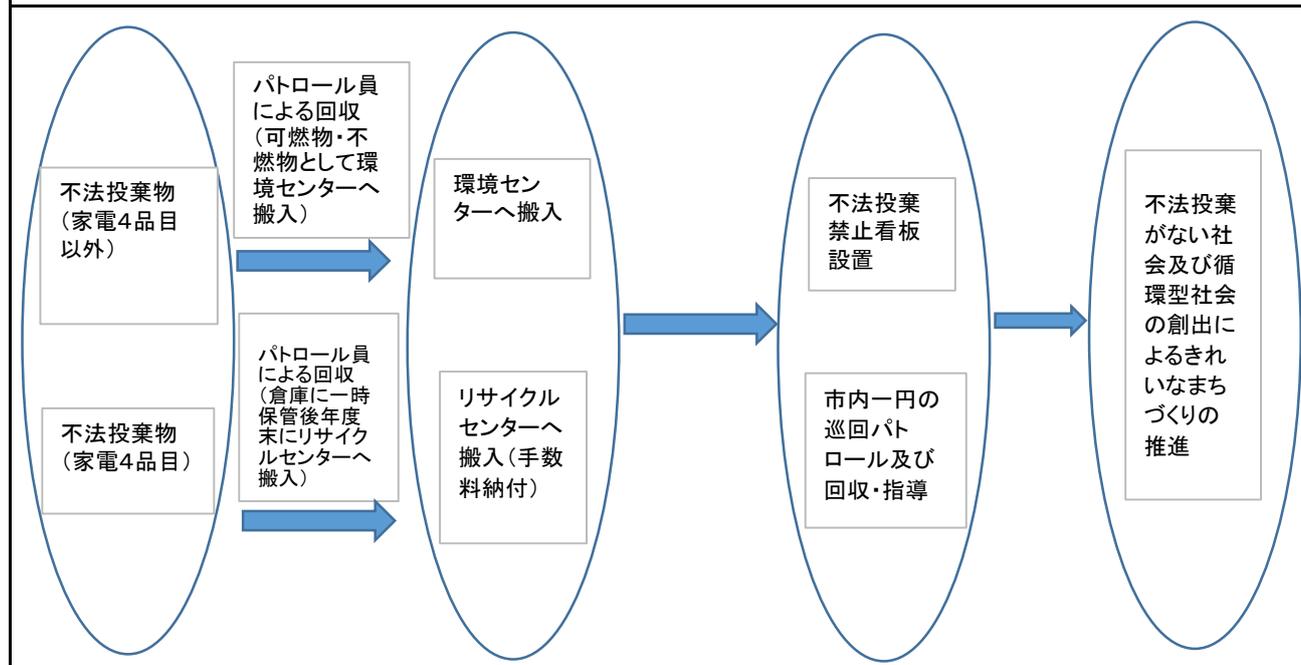
施策	2003	ごみの減量化と適正処理の推進	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	不法投棄対策事業	他事業に統合	予算額 0 千円 << 5,493 >>千円
事業期間	～		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 0 千円
根拠法令要綱等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・大村市環境美化条例 ・大村市環境美化条例施行規則		

**【事業の目的・概要・対象】**

**【目的】** 不法投棄者の抑制・撲滅を図るとともに、不法投棄がない社会及び循環型社会を創出するための啓発を行う。

**【概要】** 建築廃材等の処理規制が厳しくなったことや家電製品4品目（テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン）の廃棄処理の有料化以降、平成21年度から新たに家電製品2品目（衣類乾燥機、液晶・プラズマテレビ）が追加され、不法投棄が後を絶たない状況であり、市内一円の巡回・パトロール、指導、摘発を実施する。また、不法投棄禁止看板等の設置を行う。

**【対象】** 市内全域



**【背景】**

パトロール員による市内一円の巡回・パトロール、不法投棄禁止看板の設置、保健所との合同パトロール等を継続的に行っているが、不法投棄は減収しない状況である。また、町内会から不法投棄禁止看板の設置依頼も増加している為、今後も継続的に不法投棄防止対策の実施、啓発活動を行っていく必要がある。

担当課	市民環境部環境保全課	課長	白石 勝己
担当者	田代 哲也	問合せ先	0957-53-4111 (内線142)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	環境監視パトロール回数	回	406	486	486	486	486
②							

### 【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	不法投棄家電4品目回収件数	件	17	—	—	—	—
②	不法投棄物回収量	K g	5,457	3,570	3,570	3,570	3,570

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	5,351	4,756	5,493	0	0	0	15,600
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	5,351	4,756	5,493				15,600
人件費	5,248	7,510	3,894	0	0	0	16,652
職員(人)	0.72人	1.03人	0.53人				2.28人
時間外勤務(h)	6h	10h	20h				36h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	10,599	12,266	9,387	0	0	0	32,252

妥当性 (市の関与)	不法投棄の撲滅には、関係機関（警察署、県央保健所）、環境美化推進員、町内会長等との連携は不可欠であり、市が深く関与する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	不法投棄対策事業の実施は、廃棄物処理の推進や環境美化の推進につながっている。
効率性 (コスト)	パトロールによる巡回監視等に対し、最低限の人員配置で対応しており、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり